



見てみよう 各務原市の 令和4年度 決算状況
 各務原市役所 財政課
 〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69
 TEL | 058-383-1132
 FAX | 058-383-6365
 E-mail | zaisei1@city.kakamigahara.gifu.jp

見てみよう 各務原市の 令和4年度 決算状況



はじめに

各務原市では、市民の皆さんに、市政運営に関する情報をより広く知っていただきたいと思います。

決算については、決算書や決算認定資料を作成し公開していますが、これらは数字や文章だけで書かれており、慣れていない方にとっては少し読みにくいものとなっています。そこで、多くの皆さんに市の決算状況を分かりやすく知っていただきたいと思いますという思いから、本冊子を作成しています。

市の事業は、子どもたちの教育や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着しています。

この冊子を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対するご理解を深めていただきたいと思います。

また、令和4年度に実施した事業について、SDGsの17種類のうち該当する主なゴール（目標）を示しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、平成28年から令和12年までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）と169のターゲットから構成され、すべての国において「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、広範で統合的な取り組みです。

市では、「総合計画（後期基本計画）」や「総合戦略」の中で、SDGsを取組の前提事項に位置付けています。

（注1）本冊子では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいた決算額を記載しています。

（注2）本冊子中の説明文は、分かりやすさを重視する観点から表現しています。

1

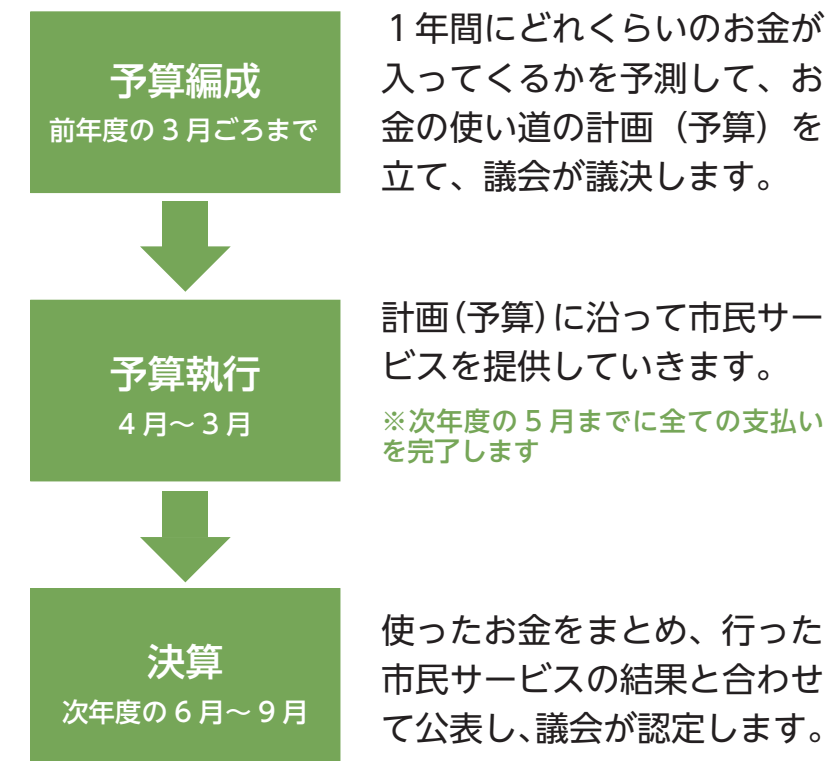
決算ってなに？

市はあらかじめ、どんなお金が入り、どんなことにいくら使うかという計画を立てています。これを「予算」といいます。

この計画に対し、実際どれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金を使ったかをまとめたものを「決算」といいます。

計画どおりにきちんと使われたのか市民の代表者が集まる議会などでしっかり確認しています。

■予算から決算までの流れ



メモ

1年間の計画を立ててお金を使っていますが、台風など自然災害の発生や経済情勢の変化など、予測できなかった事態に対応するため、途中で計画を変更することがあります。この場合、必要なお金を追加したり、不要となったお金を減らしたりします。令和4年度は、過去2年と同様に新型コロナウイルス感染症の影響によるものに加え、電力・ガス・食料品などの価格高騰の影響などによる計画の変更を行いました。

2

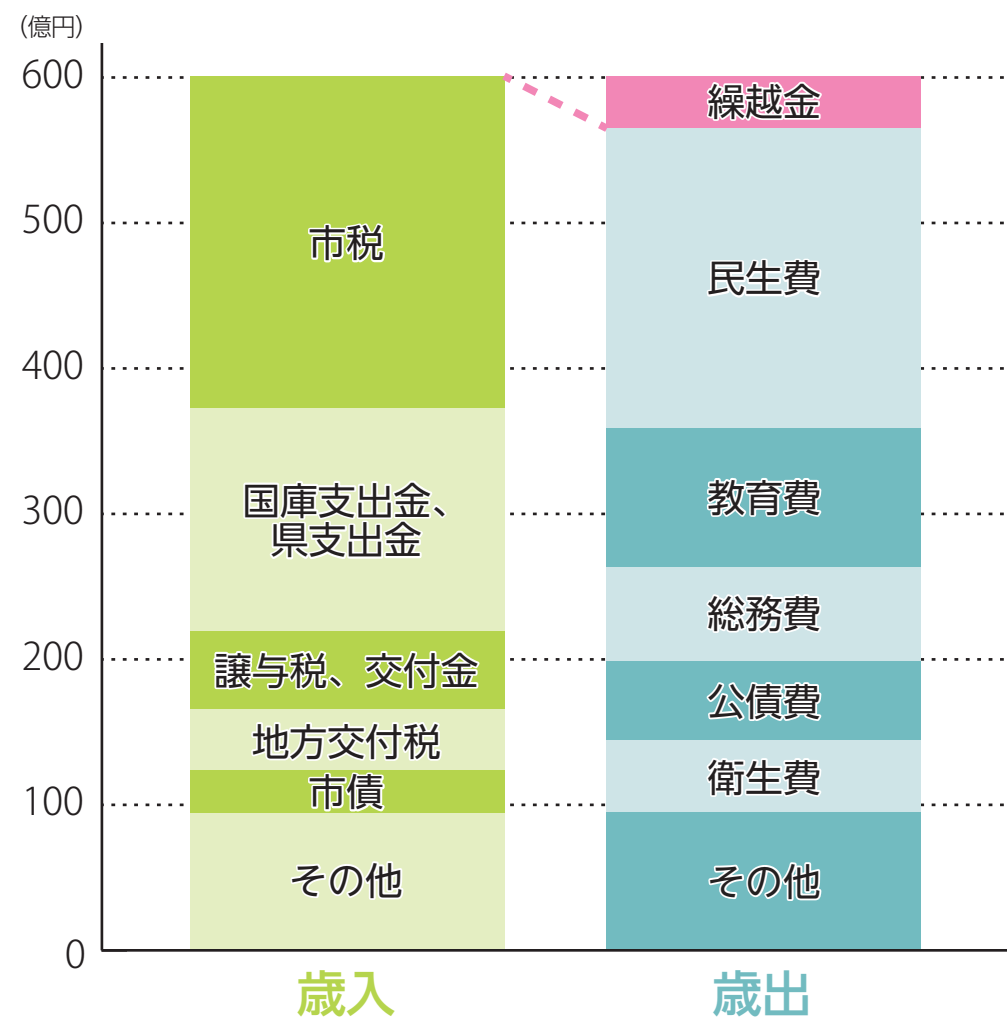
どれくらいのお金を扱っているの？

令和 4 年度の決算では、

入ったお金（歳入）は、600 億 9,162 万円

使ったお金（歳出）は、565 億 7,023 万円 です。

余ったお金の 35 億 2,139 万円は、次の年度に使っていきます（「繰越金」といいます）。



メモ

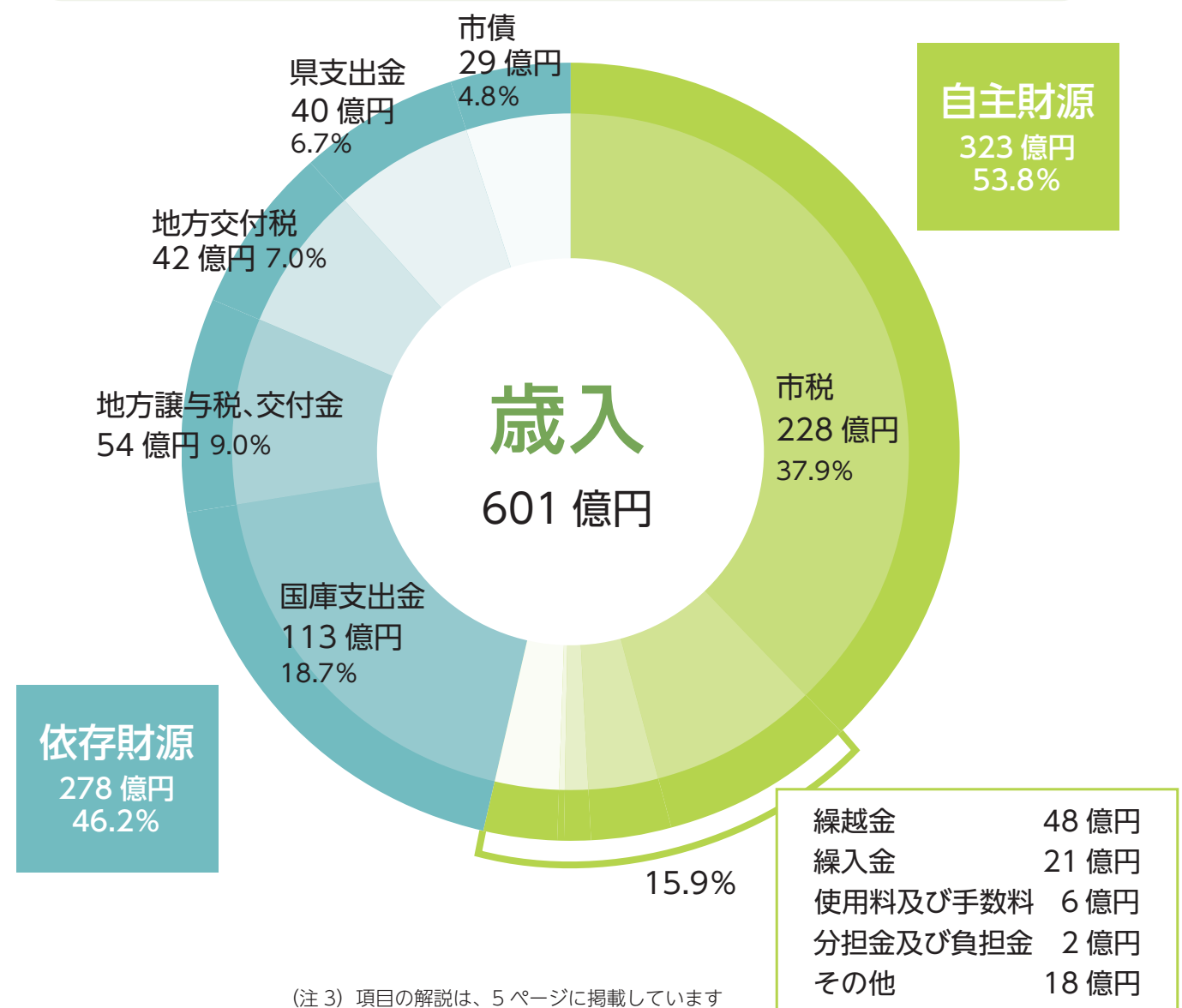
繰越金は次の年度の市民サービスに活用していきます。歳入・歳出の額は年度によって増減しますが、令和 4 年度は主に新型コロナウイルス感染症対策経費や新庁舎建設事業費が減少したことにより、過去 2 年間の平均と比較して、歳入は 11 億円ほど、歳出は 10 億円ほど減少しています。

3

どんなお金が入ってきたの？

令和 4 年度に各務原市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。

市内に住んでいる人が納める個人市民税、市内に事務所などがある法人が納める法人市民税、市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税といった税金のほか、国や県から入ってくるお金、施設の利用料、銀行などからの借入金、貯金を取り崩したお金などがあります。



(注 3) 項目の解説は、5 ページに掲載しています

メモ

市が自主的に集められる「自主財源」は全体の約 5 割、それ以外の「依存財源」は、国・県から入ってくるお金や銀行などから借りたお金です。
「自主財源」の大部分は市民の皆さんに納めていただいた税金で、市の重要な財源となっています。

#

令和4年度に実施した主な事業について、目的別に紹介します。

総務費

SDGs 啓発事業【活力】

30 万円

市内で SDGs の活動や普及啓発に取り組んでいる企業・団体などを対象とした「かかみがはら SDGs パートナー登録制度」を創設し、登録証の交付式や交流会などを開催しました。



多文化共生社会推進事業【誇り】

244 万円

外国人市民が能力と個性を十分に活かすことができる環境づくりを進めるため、多文化共生推進プランを策定するとともに、外国人市民を対象とした日本語教室などを実施しました。



民生費

抗原検査キット配布事業【やさしさ】

182 万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、入所系の障がい者施設および高齢者施設に対して、検査キットを配布しました。



物価高騰に係る保育所給食費負担軽減事業【やさしさ】

187 万円

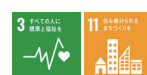
保育所で提供される給食について、食材費高騰により給食費の値上がりや給食の品数などに影響が及ばないよう、給食費の増額分を支援しました。また、学校給食においても、同様に給食費の増加分を支援しました（教育費：3,427 万円）。



高齢者等ごみ出し支援事業【やさしさ】

114 万円

最寄りのごみ集積所までごみを出すことができず、ボランティアの支援も受けられない、虚弱な高齢者などを対象に、ごみ出し支援を実施しました。



（注4）【誇り】【活力】【やさしさ】は、本市のまちづくりにおいて大切にしている3つの基本理念を示しています。

衛生費

出産・子育て応援事業【やさしさ】

9,930 万円

妊娠届出時から妊婦や子育て家庭に寄り添い、出産・育児などの見通しを立てるための面談や継続的な情報発信を行うことを通じた伴走型支援の充実を図るとともに、経済的な支援を実施しました。



食品ロス削減啓発事業【誇り】

25 万円

食品ロス削減について、10月の「食品ロス削減月間」を中心に啓発活動を行うとともに、食材を無駄なく利用する料理方法を学ぶ教室を開催しました。



労働費

就職マッチングイベント出展事業【活力】

209 万円

積極的に採用活動を行う市内事業者を対象に、民間が主催する大規模な就職マッチングイベントのブースを確保し、出展を支援しました。



新規学卒者確保応援事業【活力】

82 万円

新規学卒者の採用に取り組む市内中小事業者などが大手就職情報サイトを利用する際の掲載費用の一部を助成しました。



農林水産業費

各務原ものづくり見学事業（にんじんコース）【誇り】

13 万円

市の特産品を深く理解してもらうため、にんじん選果場の見学や講話を、小学生を対象に実施しました。



肥料価格高騰対策追加支援事業【活力】

62 万円

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、国の「肥料価格高騰対策事業費補助金」の交付を受けた農業者に対し、助成対象経費の一部を補助しました。



プレミアム付商品券事業（第2弾）【活力】

7億5,768万円

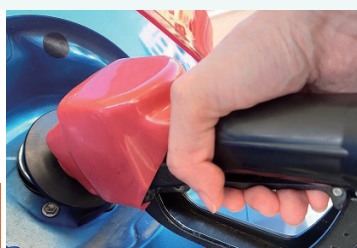
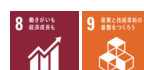
新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰・物価高騰などの影響を受ける市民および市内事業者を支援するため、全市民を対象に、1人1冊購入できる、額面1万円・プレミアム率100%の商品券を販売しました。



中小企業等エネルギー価格高騰対策支援事業（第1弾）【活力】

1億715万円

エネルギー価格高騰の影響により厳しい経営環境におかれている市内中小事業者を支援するため、一定以上のエネルギー経費を要した事業者に対し、支援金を交付しました。



チョイソコかかみがはら事業【活力】

2,264万円

鵜沼南地区での2年間の実証実験の結果を踏まえ、令和4年10月に須衛・各務・八木山エリアを加えて、本格運行を開始しました。



デザインマンホール設置事業【活力】

142万円

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を中心とした市内観光施設への誘客のため、デザインマンホールおよびマンホールカードを作成しました。



地区計画道路整備事業【活力】

1億672万円

市街化区域の都市基盤整備を推進するため、地区計画道路である各務原南7号ほか1道路改良工事などを実施しました。



つつじが丘地区公園リニューアル整備事業【活力】

2,771万円

安全・快適で緑豊かな都市環境の形成を図るため、つつじが丘南公園、東公園のリニューアル整備工事を実施しました。



防災教室事業【やさしさ】

13万円

市内小学校5校の4年生以上を対象に、防災に関する座学と、ダンボールベッドやパーティションの組み立てなど、避難所での生活を想定した備蓄品の体験学習などを実施しました。



自動式心臓マッサージ器導入事業【やさしさ】

274万円

患者と接する隊員数を最小限にし、エアロゾル感染から隊員を守るとともに、狭い場所や移動中でも効果的な心臓マッサージができるよう自動式心臓マッサージ器を導入しました。



消防車両更新事業【やさしさ】

1億2,860万円

各種災害の出動要請に備えるため、水槽付消防ポンプ自動車と化学消防ポンプ自動車を、年次計画に基づき更新しました。



学校ICT推進事業【誇り】

1億9,549万円

小中学校に導入されている電子黒板を大型ディスプレイに更新し、児童生徒に1人1台配備しているタブレット端末と合わせて活用することで、授業の充実を図りました。



不登校対策事業【誇り】

3,910万円

令和4年10月に、教育センター「さくら まえみや」を開設し、学校や教室に行きづらさを感じている児童生徒が家から一歩踏み出し、「好きなこと」、「やってみたいこと」を自分のペースで行うことを通して、社会的自立ができるよう支援しました。



文化財団補助事業【誇り】

3,924万円

文化資源を活用したさまざまな取り組みや、次代を担う子どもや若者がまちに関わるができる取組を支援するため、「（一財）かかみがはら未来文化財団」へ補助金を交付しました。



6_①

貯金や借金はどれくらいあるの？

市では、貯金のことを「基金」、借金のことを「市債（借入金）」と呼んで管理しています。

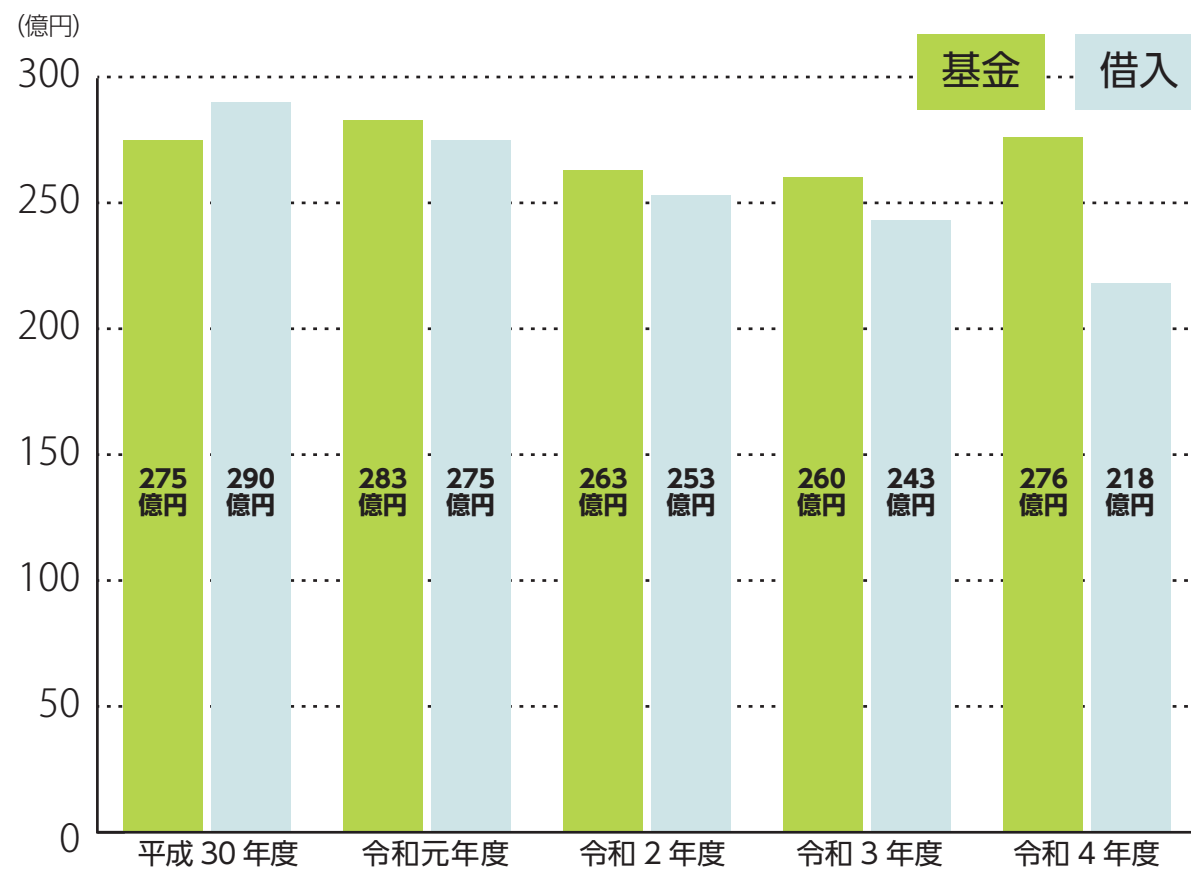
令和4年度末の基金残高は、**275億7,602万円**です。

令和3年度末と比べ**15億9,628万円**増加しました。

また、令和4年度末の借入残高は、**218億4,113万円**です。

令和3年度末と比べ**24億7,632万円**減少しました。

基金残高・借入残高の推移



メモ

基金は、年度間のお金の過不足を調整するもの、借入金の返済に使うもの、学校施設の整備に使うものなど、それぞれの目的ごとに分類し、管理しています。借入金にも種類がありますが、市では将来の財政負担を軽くするために、その返済に国の支援がある有利なものに限りお金を借りています。とはいえ、借金は借金ですから、計画的に借入・返済をすることが大切です。

6_②

貯金があるのになんで借金をするの？

市の貯金（基金）は目的ごとに分類して管理していますので、例えば学校を建てるという目的のために積み立てた貯金は、当然学校を建てるために使います。計画的に積み立てて、少しでも将来の世代の人たちに負担を残さないようにすることは大切です。

しかし、今の世代の人たちが納めた税金と積み立てた貯金だけで、これから何十年も使っていく学校の費用をすべて支払ってしまうことは、今の世代の人たちからすると不公平だと感じるでしょう。

そこで、費用の一部を借金して分割払いにすることで、将来の世代の人たちにも公平に負担をしてもらいます。

市民負担のイメージ



建設時の市民だけで
は大きな負担…



長い間かけて使うことができるものは、長い間かけてみんなで負担！

メモ

市の借入金は、基本的に建物や道路などを整備するためのものです。毎月の生活費のために借りるのではなく、住宅ローンのように何年も使っていくような大きな買い物のお金を借りています。

令和4年度中にいただいた「ふるさと納税」4億7,047万円を活用した事業のうち、一部を紹介します。

応援メニュー	寄附金額	応援メニュー	寄附金額
1 教育・文化・スポーツに関すること	5,565万円	6 子ども福祉に関すること	8,466万円
2 環境に関すること	3,028万円	7 防災・防犯に関すること	742万円
3 保健・医療に関すること	2,264万円	8 基盤整備に関すること	435万円
4 高齢者福祉に関すること	1,225万円	9 産業振興に関すること	1,550万円
5 障がい児者福祉に関すること	1,809万円	10 各務原市まると応援	2億1,963万円

1 給食センター改修等整備事業

事業費 4,551万円

小中学校へ確実に給食を届けられるよう、老朽化した学校給食センターの蒸気ボイラーの改修やコンビオーブンの取替を行いました。



2 クリーンセンター管理費

事業費 9,732万円

収集されたし尿などを周辺環境への影響に配慮し、適正かつ適法に処理しました。



3 予防接種事業費

事業費 3億6,629万円

予防接種法に基づき、定期予防接種を実施し、感染症の発生およびまん延防止に努めました。



4 フレイル予防事業

事業費 687万円

管理栄養士や理学療法士などの専門職による講話や、自身のフレイル状態の測定を行うフレイルチェック事業、スマートフォンアプリを活用したウォーキングイベントなど、高齢者を対象とした、フレイル予防のための取組を実施しました。



5 福祉体験学習事業

事業費 43万円

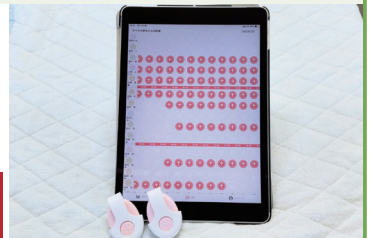
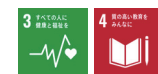
小学4～6年生や中学生を対象に、相手の立場になって考えられる「やさしさ」を育むきっかけとするとともに、福祉の仕事の魅力を知ってもらうことを目的に、高齢者や障がい者に関する体験学習をオンラインで実施しました。



6 午睡時事故防止推進事業

事業費 168万円

市内の保育所などにおいて、午睡時の安全対策の強化を目的に、乳児の体の動きや向きをチェックする午睡センサーの更新を行いました。



7 防災行政無線(同報系)屋外拡声子局移設・スピーカー増設事業

事業費 212万円

土地の再整備に伴う子局の移設工事を行ったほか、無線放送が聞き取りにくい地域について、高性能なスピーカーの増設を行いました。



8 蘇原吉新町2丁目交差点改良事業

事業費 1,148万円

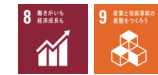
市民生活に密着した道路として、蘇原吉新町2丁目交差点の改良工事を実施しました。



9 中小企業DX推進事業

事業費 859万円

市内中小企業のデジタル技術を活用したビジネス変革に向けた取組を支援するため、先進事例や市内外企業の取組事例の紹介や国の「IT導入補助金」の交付を受けた事業者にも、対象経費の一部を補助しました。



10 キャッシュレス決済導入事業

事業費 99万円

利用者の利便性向上のため、各種証明手数料や公共施設利用料などの窓口での支払いにクレジットカードや二次元バーコードなどによるキャッシュレス決済を導入しました。

